

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																										
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日	前野 一夫		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111																										
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																										
学校法人片柳学園		昭和31年7月10日	千葉 茂		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111																										
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																									
文化・教養	芸術専門課程	コンサート・イベント科			平成9年文部科学大臣 告示号外第229号	-																									
学科の目的	コンサート業界・音楽業界で活躍するために必要な「技術」「知識」に加え、魅力的な人物として成長できるための柔軟な発想といかなる場合においても素早く行動できる実践力を養う。																														
認定年月日	平成27年2月17日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	1770	945		1680																										
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
280人		430人	5人	8人	37人	45人																									
学期制度	■前期：4月1日～10月11日 ■後期：10月12日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定																										
長期休み	■学年始：4月1日～ ■夏季：8月10日～8月15日 8月31日～9月7日 ■冬季：12月23日～1月8日 ■学年末：3月18日～3月31日			卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること																										
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭、海外研修旅行 ■サークル活動：有																										
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 明治座舞台株式会社 株式会社東京サウンド・プロダクション 株式会社共立 株式会社サンフォニクス 株式会社西日本企画サービス ■就職指導内容 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方の説明を実施。随時、個別面談を行う。 また就職模擬試験(筆記試験)と模擬面接を実施。 ■卒業生数 178 人 ■就職希望者数 162 人 ■就職者数 140 人 ■就職率 86.4 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 78.8 % ■その他 ・東京工科大学 メディア学部編入： 3人 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネス検定3級</td> <td>③</td> <td>178人</td> <td>158人</td> </tr> <tr> <td>フォークリフト特別</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>高所作業車特別教育</td> <td>③</td> <td>51人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>小型移動式クレーン</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>舞台機構調整技能検</td> <td>②</td> <td>66人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ビジネス検定3級	③	178人	158人	フォークリフト特別	③	36人	36人	高所作業車特別教育	③	51人	51人	小型移動式クレーン	③	15人	15人	舞台機構調整技能検	②	66人	22人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
ビジネス検定3級	③	178人	158人																												
フォークリフト特別	③	36人	36人																												
高所作業車特別教育	③	51人	51人																												
小型移動式クレーン	③	15人	15人																												
舞台機構調整技能検	②	66人	22人																												

中途退学の現状	<p>■中途退学者 18名 ■中退率 4.6% (休学者3名含まず)</p> <p>平成31年4月1日時点において、在学者393名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者370名(令和2年3月31日卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>進路変更(就職・進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等</p>
	<p>■中退防止・中退者支援のための取組</p> <p>担任と科長による面談。懇談会・電話等による保護者との情報共有。</p> <p>担任による指導のほか経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学(転科等)の指導・助言・相談も行っている。</p>
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有</p> <p>・片柳学園入学金免除制度・若きつくりびと奨学金制度・再入学優遇制度・片柳学園奨学金制度・留学生特別給付制度</p> <p>・ミュージシャン特待生・スポーツ特待生</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象</p> <p>※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 有</p> <p>特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構、平成25年度(平成26年3月31日)受審</p> <p>https://www.neec.ac.jp/education/accreditation/</p>
当該学科のホームページURL	https://www.neec.ac.jp/department/

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

コンサート・音楽業界に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。また、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容及び方法について検証する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（1年）	①
杉田 達矢	株式会社エムエスアイジャパン東京 部長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（1年）	③
桑島 理	PRG株式会社 統括部長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（1年）	③
前野 一夫	日本工学院八王子専門学校 校長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（1年）	
小寺 修一	日本工学院八王子専門学校 科長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日（1年）	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（3月・9月）

(開催日時（実績）)

第1回 令和元年11月28日 11:00～13:00

第2回 令和2年6月15日 11:00～13:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

最新の技術や必要な知識について連携企業の委員より意見をいただき、カリキュラムに反映させて活用している。また、コンサート業界における高所作業等の安全対策について意見をいただき、足場の組立等の特別教育を学内で行いコンサートプロダクトでの安全教育について活用している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 コンサート制作・運営・進行・オペレートの実習において、実践的な指導を受けるためにコンサート・音楽業界での実績のある企業を選定している。また、指導を受けるにあたっては各分野で必要となる知識、技術、感性を有している講師の派遣などの協力が得られることが可能な企業を選定している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 連携企業からの意見等を参考にし、コンサート・イベント業界の最新情報や新技術などについて実習へのフィードバックを行い、次年度のカリキュラムに反映させている。実習などの授業内容を映像化し、委員に見てもらいながら検証を行い、改善点などをフィードバックしてもらう。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
コンサートプロダクト 1・2	<p>【制作コース】【イベント企画コース】 市場調査、ヒットチャート研究などマーケティングを行い、アーティストやジャンルによる客層を把握して、効率的なプロモーション方法を研究します。学内施設を中心としたコンサートを繰り返しながら各コースのプロとしての能力を心身ともに高めます。</p> <p>【照明コース】ムービングライトの知識・技術や照明プランニング・本番のオペレートを習得します。</p> <p>【PAコース】大型のミキサーやデジタルミキサーの扱いも習得し、ミキシング技術・本番のオペレートを習得します。</p> <p>【舞台コース】CADソフトを使用して舞台図面作成や、舞台進行などを習得します。</p>	株式会社ホットスタッフ・プロモーション 有限会社ブリックハウス 麻布十一番有限会社
コンサートプロダクト 3・4	<p><コンサート制作コース> 市場調査、ヒットチャート研究などマーケティングを行い、アーティストやジャンルによる客層を把握して、効率的なプロモーション方法を研究します。</p> <p><コンサートPAコース> 大型のミキサーやデジタルミキサーの扱いも習得し、ミキシング技術、本番のオペレートを習得します。</p> <p><コンサート照明コース> ムービングライトの知識や技術や照明プランニング、本番のオペレートを習得します。</p> <p><コンサート舞台コース> CADソフトを使用しての舞台図面作成や舞台進行などを習得します。</p> <p><イベント企画コース> コンサートでのグッズ制作やマーケティングリサーチをもとにした商業施設でのPRイベントやトークショーなどを行い、効果的なプロモーション方法を研究します。</p>	株式会社ホットスタッフ・プロモーション 有限会社ブリックハウス 麻布十一番有限会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
 常に新しい技術や知識が必要となるエンタテインメント業界では社会の動向や世界情勢の変化によって急速な変化がもたらされる。そのため国内のみならずグローバルに活躍できる人材の輩出を目的とした高度な技術、知識。さらに豊かな発想力。また広く親交を深められる協調性を持った人材を育成していく事が重要と考え、業界知識にとどまらない研修を実施する。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「Inter BEE 2019」

(連携企業等：一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA))

期間：2019年11月13日 (水)

対象：コンサート・イベント科教員

Inter BEE 2019 会場 幕張メッセ

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) が主催するこのイベントを訪れ、現在、エンターテインメント業界で使用されている様々な機器、またそれについての活用法などを知る機会とした。デジタル機器に関連する企業・団体1158社が出展。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コンサート・イベント科教員研修会」

(連携企業等：一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 株式会社ホットスタッフ・プロモーション)

期間：2020年3月23日 (月)

対象：コンサート・イベント科教員

教員を対象にオンライン開催。今年度の振り返りとして、学生の動向や学習進捗状況、問題点などを話し合い、次年度での指導方法、新規教材使用の検討なども実施。

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「第8回 ライブ・エンターテインメント EXPO」

(連携企業等：リード エグジビション ジャパン株式会社)

期間：2021年2月24日 (水)～2月26日 (金) 実施予定

対象：コンサート・イベント科教員

第7回 ライブ・エンターテインメント EXPO 会場 幕張メッセ

ライブ・エンターテインメント分野 日本最大の専門展。

コンサート、フェス、ミュージカル、演劇、スポーツ興行、各種ショーなどの開催に必要な全てが一堂に出展。主催者、制作会社などのライブ・エンターテインメント関係者が来場する。出展企業との交流を行いコンサート業界の最新の動向についての情報を知る機会とする予定。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コンサート・イベント科教員研修会」

(連携企業等：株式会社ホットスタッフ・プロモーション)

期間：2020年10月30日 (金) 実施予定

対象：コンサート・イベント科教員

日本工学院八王子専門学校に於いて教員を対象に開催予定。授業における教育・指導方法の研修を実施予定。学生の動向や学習進捗状況、問題点などを話し合い、次年度以降の指導方法、新規教材使用の検討なども実施予定。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1)理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
(3) 教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
(4) 学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
(6) 教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
(8) 財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	(32)関連法令・設置基準等の遵守 (33) 個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献 (37) ボランティア活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

Society 5.0を踏まえた教育が必要との意見から、専門分野だけでなくインターネットなどのIT技術を中心に修得できるような学科・カリキュラムを超えたラポール強化するとともに、コミュニケーションやビジネススキル向上、部分で積極的に勉強するようなアクティブラーニングの環境を整えるため、地域連携事業を積極的に推進する。

コロナ禍でのオンライン授業などに対応するため、利用しやすいIT環境の整備を早急に進めていく。また、対面授業においても専門家からの意見を参考に、感染防止対策に万全を尽くしていく。

教員もコロナ禍における授業体制に対応するスキル向上のため、今年度も引き続き教員の就労環境の改善をはかりながら、自発的な能力開発及び向上を目的とした「学校法人片柳学園職員自己啓発支援制度」を積極的に活用できるよう教員の研修体制を整えていく。

募集活動においては、オンライン面談など将来を見据えた対策も早期に計画する。また、経済的な問題を抱えている学生へは、高等教育の新制度を周知しながら修学継続できるような支援策を計画していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	卒業生/IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 事務局長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	地域関連
三井 隆裕	株式会社ヌーベルバーグ 代表取締役社長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	クリエイターズ 企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	ミュージック 企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 執行役員 企画戦略室 室長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	デザイン 企業等委員
鈴木 浩之	株式会社田中建設 取締役 建築部長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	テクノロジー 企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	スポーツ 企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事務長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	医療 企業等委員
宮崎 豊彦	八王子市私立保育園協会 会長 城山保育園 園長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年)	医療・保育 団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他 ()) 令和2年9月30日
 URL : <https://www.neec.ac.jp/announcement/28523/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
 教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。
 また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育人人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価、令和元年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※ (10) 及び (11) については任意記載。

(3) 情報提供方法
 URL: <https://www.neec.ac.jp/announcement/28523/>

授業科目等の概要

(芸術専門課程コンサート・イベント科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			音楽基礎 1	この授業では、必ずしも音符を読むということのみならず、あらゆる要素から楽譜が追えるようになるよう、リズム・テンポや拍子・音楽用語等、幅広く音楽基礎知識を養う。そして実践に役立つよう、楽譜を追いながら楽曲を聴くなど、音楽と親しむ。	1・前	30	2	○			○			○	
○			音楽基礎 2	この授業では、必ずしも音符を読むということのみならず、あらゆる要素から楽譜が追えるようになるよう、リズム・テンポや拍子・音楽用語等、幅広く音楽基礎知識を養う。そして実践に役立つよう、楽譜を追いながら楽曲を聴くなど、音楽と親しむ。	1・後	30	2	○			○			○	
○			キャリアプランニング 1	ライブ制作をはじめとした実務に必要なOfficeソフトについて、PC操作実習を通じて基本的な操作と主にライブ制作現場を意識した活用方法を学習し、1年次後半～2年次のライブ制作実習の際にはスムーズなソフト活用（ドキュメント作成、タイムスケジュール等の表作成、表計算、プレゼンテーションなど）がされることを目指す。	1・前	30	2	○			○			○	
○			キャリアプランニング 2	座学とPC操作実習がメインとなる。PC操作実習においては、最初にソフト操作の概要を示し、実務で必要とされるシーンを想定してビジネス文書作成、歌詞カードなどのドキュメント作成、表作成、表計算、効果的なプレゼンテーションとスライド作成を行う。	1・後	30	2	○			○			○	

○		音楽ビジネス・マネジメント1	エンタテインメント産業での業種を理解していくことは、卒業後の仕事内容をイメージしながら取り組むことが大事である。科目の目的を毎回いろいろな角度からアプローチしていく。エンタテインメント産業での業種を理解していくことは、卒業後の仕事内容をイメージしながら取り組むことが大事である。科目の目的を毎回いろいろな角度からアプローチしていく。	1 ・ 前	30	2	○			○			○
○		音楽ビジネス・マネジメント2	エンタテインメント産業での業種を理解していくことは、卒業後の仕事内容をイメージしながら取り組むことが大事である。科目の目的を毎回いろいろな角度からアプローチしていく。エンタテインメント産業での業種を理解していくことは、卒業後の仕事内容をイメージしながら取り組むことが大事である。科目の目的を毎回いろいろな角度からアプローチしていく。	1 ・ 後	30	2	○			○			○
○		ミュージックリテラシー1	到達目標を実現するために必要となる、音楽業界における知識・テーマ（特に実技ではカバーされない範囲）を意識して計画される。具体的には、現在のエンタメ業界を読み解く基礎知識を講義する。業界の基礎となる知的財産（著作権等）にも触れる。講義のみならず、グループワークも適宜実施し、様々な議題について意見交換し結論を導き出すことで、会議の意義を学習する。	1 ・ 前	30	2	○			○			○
○		ミュージックリテラシー2	到達目標を実現するために必要となる、音楽業界における知識・テーマ（特に実技ではカバーされない範囲）を意識して計画される。具体的には、現在のエンタメ業界を読み解く基礎知識を講義する。業界の基礎となる知的財産（著作権等）にも触れる。講義のみならず、グループワークも適宜実施し、様々な議題について意見交換し結論を導き出すことで、会議の意義を学習する。	1 ・ 後	30	2	○			○			○

○		<p>(制作コース)ライブエンタテインメントビジネスを志すことは基本的なエンタテインメント業界の仕組みを踏まえ、幅広くその業界に携わる関係職種や業務を知ることが必須である。この講義では基本的なエンタテインメント業界の知識を習得し、ライブエンタテインメントビジネスに特化したプロダクション業務、コンサートプロモーター業務、イベンター業務を学ぶ講義である。</p> <p>(PAコース)コンサートに関する知識を学び、単なる技術者としてだけでなく業界をリードする人材としての知識、能力も身につけます。この授業で、大切なことは進みすぎず、本年度の学生の様子を考慮し人にやさしいエンジニアの育成に注意しながら、電氣的アプローチから良い音を考察します。</p> <p>(照明コース)基礎実習ローテーション期間中は、舞台照明とは何であるか、舞台照明の効果、照明設備の名称と役割、照明スタッフの仕事の内容など舞台照明に関する基本的なことを学ぶ。コース選択後は、コンサート照明スタッフとしてより専門的な知識の理解をはじめ、より詳しく照明器具の種類やカラーフィルターの種類、LEDライトやムービングライトについて学んでいく。さらに片柳記念ホールの実習ライブを通じて実践する。</p> <p>(舞台コース)この授業では、毎回のプリント配り、30年間私が舞台上で経験した事の現場の出来事を取り入れ、実践してた事を話し、質問等を多く取り入れ、コミュニケーション能力を高めて貰い。実際、舞台人の新人として、現場でやって行ける人にする事。</p> <p>(イベント企画コース)ライブエンタテインメントビジネスを志すことは基本的なエンタテインメント業界の仕組みを踏まえ、幅広くその業界に携わる関係職種や業務を知ることが必須である。この講義では基本的なエンタテインメント業界の知識を習得し、ライブエンタテインメントビジネスに特化したプロダクション業務、コンサートプロモーター業務、イベンター業務を学ぶ講義である。</p>	1 ・ 前	30	2	○		○			○	
---	--	---	-------------	----	---	---	--	---	--	--	---	--

○		<p>(制作コース)ライブエンタテインメントビジネスを志すことは基本的なエンタテインメント業界の仕組みを踏まえ、幅広くその業界に携わる関係職種や業務を知ることが必須である。この講義では基本的なエンタテインメント業界の知識を習得し、ライブエンタテインメントビジネスに特化したプロダクション業務、コンサートプロモーター業務、イベンター業務を学ぶ講義である。</p> <p>(PAコース)コンサートに関する知識を学び、単なる技術者としてだけでなく業界をリードする人材としての知識、能力も身につけます。この授業で、大切なことは進みすぎず、本年度の学生の様子を考慮し人にやさしいエンジニアの育成に注意しながら、電氣的アプローチから良い音を考察します。</p> <p>(照明コース)基礎実習ローテーション期間中は、舞台照明とは何であるか、舞台照明の効果、照明設備の名称と役割、照明スタッフの仕事の内容など舞台照明に関する基本的なことを学ぶ。コース選択後は、コンサート照明スタッフとしてより専門的な知識の理解をはじめ、より詳しく照明器具の種類やカラーフィルターの種類、LEDライトやムービングライトについて学んでいく。さらに片柳記念ホールの実習ライブを通じて実践する。</p> <p>(舞台コース)この授業では、毎回のプリント配り、30年間私が舞台上で経験した事の現場の出来事を取り入れ、実践してた事を話し、質問等を多く取り入れ、コミュニケーション能力を高めて貰い。実際、舞台人の新人として、現場でやって行ける人にする事。</p> <p>(イベント企画コース)ライブエンタテインメントビジネスを志すことは基本的なエンタテインメント業界の仕組みを踏まえ、幅広くその業界に携わる関係職種や業務を知ることが必須である。この講義では基本的なエンタテインメント業界の知識を習得し、ライブエンタテインメントビジネスに特化したプロダクション業務、コンサートプロモーター業務、イベンター業務を学ぶ講義である。</p>	1 ・ 後	30	2	○		○			○	
---	--	---	-------------	----	---	---	--	---	--	--	---	--

○		コンサートプロダクト1	<p>(制作コース)制作スタッフとしての基礎的なスキルを身に付ける為に、コンサート・プロモーターの役割や仕事を理解する。また、コンサートに関わるアーティストサイドのマネジメントやレコード会社の役割について理解する。コンサートの実践実習に向けてコンサートの企画やタイムテーブルを理解しチームの編成と企画書を作成する。ライブハウス制作実習や片柳記念ホールでのホール実習や修了公演を通じて実践的な実習授業を行う。</p> <p>(PAコース)基礎実習ローテーション期間中は基本的な音響機材の仕込み作業(コネクタの種類や名称、ケーブル巻、機材の配置配線、音量操作など)を学びます。コース選択後はコンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しくアナログコンソールのしくみや各音響機器の設置配線やミキシング操作を片柳記念ホールで行います。</p> <p>(照明コース)基礎実習ローテーション期間中は、舞台照明とは何であるか、舞台照明の効果、照明設備の名称と役割、照明スタッフの仕事の内容など舞台照明に関する基本的なことを学ぶ。コース選択後は、コンサート照明スタッフとしてより専門的な知識の理解をはじめ、仕込み図の理解、照明オペレートの理解とライブ実習を通じて実際に照明オペレートを行う。</p> <p>(舞台コース)基礎実習ローテーション期間中は基本的な舞台の役割を理解し舞台機構や作業ロープの結び方、幕の吊り方、ドラムのセティング、トラスの組み立て、吊り込み、山台の作製などを学ぶ。コース選択後はコンサート舞台スタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しく役割や仕事の内容を理解し、実習ライブを通じて舞台進行やローディなどを実践してゆく。</p> <p>(イベント企画コース)1年次のイベント企画実習では、実習を通してイベント企画スタッフとしての業務の内容を理解する。また、イベント企画に必要な発想力やプレゼンテーション能力やコミュニケーション力を高める事を目標とする。イベント企画スタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーション力を身に付けイベント企画スタッフとして自ら考え行動出来る能力を身に付けることを目標とする。</p>	1 ・ 前	240	8			○	○			○	○
---	--	-------------	--	-------------	-----	---	--	--	---	---	--	--	---	---

○		コンサートプロダクト2	<p>(制作コース)制作スタッフとしての基礎的なスキルを身に付ける為に、コンサート・プロモーターの役割や仕事を理解する。また、コンサートに関わるアーティストサイドのマネジメントやレコード会社の役割について理解する。コンサートの実践実習に向けてコンサートの企画やタイムテーブルを理解しチームの編成と企画書を作成する。ライブハウス制作実習や片柳記念ホールでのホール実習や修了公演を通じて実践的な実習授業を行う。</p> <p>(PAコース)基礎実習ローテーション期間中は基本的な音響機材の仕込み作業(コネクタの種類や名称、ケーブル巻、機材の配置配線、音量操作など)を学びます。コース選択後はコンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しくアナログコンソールのしくみや各音響機器の設置配線やミキシング操作を片柳記念ホールで行います。</p> <p>(照明コース)基礎実習ローテーション期間中は、舞台照明とは何であるか、舞台照明の効果、照明設備の名称と役割、照明スタッフの仕事の内容など舞台照明に関する基本的なことを学ぶ。コース選択後は、コンサート照明スタッフとしてより専門的な知識の理解をはじめ、仕込み図の理解、照明オペレートの理解とライブ実習を通じて実際に照明オペレートを行う。</p> <p>(舞台コース)基礎実習ローテーション期間中は基本的な舞台の役割を理解し舞台機構や作業ロープの結び方、幕の吊り方、ドラムのセティング、トラスの組み立て、吊り込み、山台の作製など)を学ぶ。コース選択後はコンサート舞台スタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しく役割や仕事の内容を理解し、実習ライブを通じて舞台進行やローディなどを実践してゆく。</p> <p>(イベント企画コース)1年次のイベント企画実習では、実習を通してイベント企画スタッフとしての業務の内容を理解する。また、イベント企画に必要な発想力やプレゼンテーション能力やコミュニケーション力を高める事を目標とする。イベント企画スタッフとしての基礎的なスキルとコミュニケーション力を身に付けイベント企画スタッフとして自ら考え行動出来る能力を身に付けることを目標とする。</p>	1 ・ 後	240	8				○	○		○	○
	○	ライブステージ鑑賞1	ライブハウスやホール公演、修了公演や卒業ライブや学園祭ライブや学内外の様々なライブを鑑賞して、照明、PA、舞台、制作などのスタッフワークを学ぶ。	1 ・ 通	15	1	○				○	○		
	○	キャリアゼミ1	各専門分野をさらに深く学んでゆきます。将来、その専門分野におけるプロフェッショナルを育成する為に、通常授業より高度な知識やスキルを身に付ける為によりレベルの高い授業になります。	1 ・ 後	15	1	○			○		○		

		○	スポーツ実習 1	レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ講座を、カレッジ全体で行います。	1 ・ 通	30	1				○	○		○			
		○	資格対策講座 1	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	1 ・ 前	15	1	○				○		○			
		○	資格対策講座 2	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	1 ・ 後	15	1	○				○		○			
		○	海外研修	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体験します。（研修先・行程は毎年異なります。） 研修での英語によるプレゼンテーションのため夏休み前から事前研修を実施する。現地では、アメリカのカルチャーに触れ、有名なライブ会場や劇場、野球のスタジアムのバックステージツアーや本場のミュージカルを鑑賞する。日本とは、違った環境の中で言葉や文化の違いを肌で感じて国際感覚を身に付け見識を広める。	1 ・ 通	30	1				○		○	○			
		○	ボランティア 1	社会貢献、地域貢献といった体験を通して、自身も社会に関わる喜びを得ていきます。活動メニューは、その都度参加者を募集する。八王子市のイベントをはじめとした地域貢献ボランティアや各種イベントでの運営のサポートなど様々なボランティアに参加する	1 ・ 通	30	1				○		○	○			
		○	特別講義 1	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。エンタテインメント業界は、非常に変化に富んだ業界である。時代に応じた、エポック・メイキングな人物を特別講師として招き将来エンタテインメント業界を担う学生に通常の授業とは別の形で新たにエンタテインメント業界に対する興味を深める。	1 ・ 前	15	1	○				○		○			
		○	特別講義 2	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。エンタテインメント業界は、非常に変化に富んだ業界である。時代に応じた、エポック・メイキングな人物を特別講師として招き将来エンタテインメント業界を担う学生に通常の授業とは別の形で新たにエンタテインメント業界に対する興味を深める。	1 ・ 後	15	1	○				○		○			

		○	インターンシップ1	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。東京新宿から新潟県苗場スキー場までバスで移動する。このバスの集合時間よりインターンシップがはじまる。現地に到着して、荒が時目決められた自分の担当部署に配属され、本番に向けての準備、設営作業、本番での対応、終了後の撤収作業をへて帰路につく。スタッフとしてイベントの一連の工程の全てがインターンシップとなる。	1・後	30	1			○		○	○						
		○	マルチメジャー1	自分が選択している専攻・コース以外に、学科の枠にとらわれず幅広く学ぶ授業です。	1・後	15	1	○			○		○						
○			キャリアプランニング3	学生の就職活動と並行し実践的な授業を行う。企業情報や就職情報を毎時プリントを配布し説明会の有無やエントリー方法を説明し指導を行う。社会人としての有り方など実社会で個々の学生が活躍出来る様にアドバイスをしてゆく。	2・前	30	2	○			○		○						
		○	キャリアプランニング4	学生の就職活動と並行し実践的な授業を行う。企業情報や就職情報を毎時プリントを配布し説明会の有無やエントリー方法を説明し指導を行う。社会人としての有り方など実社会で個々の学生が活躍出来る様にアドバイスをしてゆく。	2・後	30	2	○			○		○						
○			ビジネストレーニング1	この授業では日常で起きている事象の中で、就職活動や卒業後の社会などに関わることを逐次取り入れ、その解説を加えていく。社会人スキルの獲得を目指していく。	2・前	30	2	○			○							○	
		○	ビジネストレーニング2	この授業では日常で起きている事象の中で、就職活動や卒業後の社会などに関わることを逐次取り入れ、その解説を加えていく。社会人スキルの獲得を目指していく。	2・後	30	2	○			○							○	
		○	スポーツ実習2	レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ講座を、カレッジ全体で行います。	2・通	30	1			○		○						○	
		○	ボランティア2	社会貢献、地域貢献といった体験を通して、自身も社会に関わる喜びを得ていきます。	2・通	30	1			○			○					○	

○		<p>【2年舞台前期】コンサート舞台スタッフとしての必要な知識のスキル・アップをはじめ、プランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。舞台スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。外部のコンサート会場を使用した実習を行う事により現場に近いコンサート実習を実践的に学びます。各セクションとの連携を通じてコミュニケーション能力の向上させます。</p> <p>【2年企画前期】イベント企画スタッフとしての必要な知識や発想力のスキル・アップを図ります。企画のプランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。企画スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。</p> <p>【2年制作前期】コンサート制作スタッフとしての必要な知識のスキル・アップをはじめ、プランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。制作スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。外部のコンサート会場を使用した実習を行う事により現場に近いコンサート実習を実践的に学びます。各セクションとの連携や外部のメディア企業や協賛企業との交渉を通じてコミュニケーション能力の向上させます。</p> <p>【2年PA前期】コンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、仕込み作業をスピードアップさせる事も大切です。PAチームとしてのワークスタイルを確立し、更なるミキシングテクニックを実践的に学びます。各コースとの関連やコミュニケーションを本番実習を通して学びます。</p> <p>【2年照明前期】外部の会場での実践的なコンサート実習を通じて、プロの現場を意識した状行を行う。仕込み作業等を安全かつ決められた時間内に正確にしっかりと行う。照明チームとしてのワークスタイルを確立し照明スタッフとして更なるスキル・アップを図る。現場に即した他のセクションやアーティストサイドとのコミュニケーションを本番実習を通して行い、自ら考え判断し行動できるようにする。</p>	2 ・ 前	270	9			○	○	○	○	○
---	--	--	-------------	-----	---	--	--	---	---	---	---	---

	○	コンサートプロダクト4	<p>【2年舞台後期】コンサート舞台スタッフとしての必要な知識のスキル・アップをはじめ、プランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。舞台スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。外部のコンサート会場を使用した実習を行う事により現場に近いコンサート実習を実践的に学びます。各セッションとの連携を通じてコミュニケーション能力の向上させます。</p> <p>【2年企画後期】イベント企画スタッフとしての必要な知識や発想力のスキル・アップを図ります。企画のプランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。企画スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。</p> <p>【2年制作後期】コンサート制作スタッフとしての必要な知識のスキル・アップをはじめ、プランニングや関連業務のスピード・アップと精度を上げます。制作スタッフとしての基本業務を確実にこなし更なる向上を目指します。外部のコンサート会場を使用した実習を行う事により現場に近いコンサート実習を実践的に学びます。各セッションとの連携や外部のメディア企業や協賛企業との交渉を通じてコミュニケーション能力の向上させます。</p> <p>【2年PA後期】コンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、仕込み作業をスピードアップさせる事も大切です。PAチームとしてのワークスタイルを確立し、更なるミキシングテクニックを実践的に学びます。各コースとの関連やコミュニケーションを本番実習を通して学びます。</p> <p>【2年照明後期】外部の会場での実践的なコンサート実習を通じて、プロの現場を意識した状行を行う。仕込み作業等を安全かつ決められた時間内に正確にしっかりと行う。照明チームとしてのワークスタイルを確立し照明スタッフとして更なるスキル・アップを図る。現場に即した他のセッションやアーティストサイドとのコミュニケーションを本番実習を通して行い、自ら考え判断し行動できるようにする。</p>	2 ・ 後	270	9			○	○	○	○	○	
	○	カレッジプロジェクト	<p>ミュージック・カレッジでの2年間の集大成となるイベント「Real Dreams」を通じてその成果を示す。出演アーティストの選定から現場の運営、PA、照明、舞台進行など準備段階から本番まで全学科の学生が協力し合い実施する</p>	2 ・ 通	30	1			○	○	○			

		○	ライブステージ鑑賞2	ライブハウスやホール公演、修了公演や卒業ライブや学園祭ライブや学内外の様々なライブを鑑賞して、照明、PA、舞台、制作などのスタッフワークを学ぶ。	2・通	15	1	○														
		○	キャリアゼミ2	各専門分野をさらに深く学んでゆきます。将来、その専門分野におけるプロフェッショナルを育成する為に、通常授業より高度な知識やスキルを身に付ける為によりレベルの高い授業になります。	2・前	15	1	○														
		○	キャリアゼミ3	各専門分野をさらに深く学んでゆきます。将来、その専門分野におけるプロフェッショナルを育成する為に、通常授業より高度な知識やスキルを身に付ける為によりレベルの高い授業になります。	2・後	15	1	○														
		○	資格対策講座3	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro Tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	2・前	15	1	○														
		○	資格対策講座4	ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA 映像音響処理技術者試験、Pro Tools、イベント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受験対策講座です。	2・後	15	1	○														
		○	特別講義3	エンタテインメント業界は、非常に変化に富んだ業界である。時代に応じた、エポック・メイキングな人物を特別講師として招き将来エンタテインメント業界を担う学生に通常の授業とは別の形で新たにエンタテインメント業界に対する興味を深める。	2・前	15	1	○														
		○	特別講義4	エンタテインメント業界は、非常に変化に富んだ業界である。時代に応じた、エポック・メイキングな人物を特別講師として招き将来エンタテインメント業界を担う学生に通常の授業とは別の形で新たにエンタテインメント業界に対する興味を深める。	2・後	15	1	○														
		○	インターンシップ2	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。また、内定した企業で行われる長期研修です。	2・後	450	15															
		○	マルチメジャー2	入学時に自分が選択している学科の専攻・コース以外の実習科目を選択し受けられる授業です。期間中に自分のマルチメジャーで選択したコースの基本的なことから実践的な知識を理解する。実際に実習を通じてオペレートを行う。	2・前	15	1	○														
合計					75科目	2625単位時間（119単位）																

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目1320時間(63単位)および選択科目450時間(15単位)以上取得し、合計1770時間(78単位)以上取得すること。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。